

令和2年2月6日（木） 実施

受験番号	
------	--

2020 年度大学院法学研究科

特別選考による外国人修士課程入学試験問題

専攻科目に関する論文試験（日本語で解答すること。）

- (1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。（氏名は絶対に記入しないこと。）
- (2) **出願時に申請した1科目（入学後に専攻を予定している科目1科目）**を解答しなさい（科目は受験票に記載されている）。
- (3) 解答用紙の所定の欄に、選択した科目の番号および科目名を記入すること。
- (4) 各解答用紙には、選択した問の番号を必ず記入すること。
- (5) 解答用紙は使用するしないにかかわらず、2枚とも回収する。受験番号と選択した科目の番号および科目名を記入すること。

【1】中国法

以下の問いに答えなさい（全問必答。なお問いはいずれも中国法についてのものである）。

問1 憲法上の「自治」に関する規定上の特徴とその問題点について述べなさい。

問2 民法上の「法人」規定の変遷について説明しなさい。

問3 刑事事件の身柄拘束に係る規定の内容とその問題点について述べなさい。

【2】憲法

次の2問とも回答しなさい。解答用紙は1問につき1枚使用すること。

問1 職業選択の自由について、判例にも触れながら、論じなさい。

問2 憲法と政党の関係について、判例にも触れながら、論じなさい。

【3】国際関係論

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問について1枚を使用すること。

問1 国際関係におけるパワーの源泉や効果について、軍事、経済、文化の3つのキーワードを手掛かりに、論ぜよ。

問2 「国際公共財」とは何か、説明せよ。また、国際公共財が供給される原因について、複数の学説を紹介した上で、その是非を論ぜよ。その際、具体例に言及すること。

【4】国際関係史

次の2問の中から1問を選択し回答しなさい。

問1 東アジアにおける「冷戦」の史的展開とその特徴について、具体的事例を挙げながら論じなさい。また、上記の特徴をもつ「冷戦」あるいは「冷戦システム」が、現在の東アジア国際関係に及ぼしている影響についても論じなさい。

問2 近年の日韓関係の「悪化」について、戦後日韓関係の史的展開および東アジア国際秩序の変容という歴史的観点から、具体的事例を挙げながら論じなさい。

【5】民法

何者かに携帯電話契約の名義を冒用された A のところに電話会社 B から契約内容確認の「お知らせ」、数回の通話料金請求書、「法的措置予告通知書」がきた。

B 社としてはいかなる主張をすることが考えられるか。その主張は認められるか、検討を加えなさい。

【6】民事訴訟法

以下の3問の中から、1問を選択して解答しなさい。解答に際しては、選択した問題の番号を解答用紙の最初に明示すること。

問1 相殺の抗弁について論じなさい。

問2 民事訴訟法の目的と限界について論じなさい。

問3 民事訴訟法 248 条の法的性質と適用範囲について論じなさい。

【7】国際私法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問について1枚使用すること。

問1 国際社会における私人間の法律問題の規律に関する「子の福祉」の理念の意義について、具体例に言及しつつ、あなたの考えを論じなさい。

問2 法の適用に関する通則法（平成 18 年法 78 号）41 条については立法論として削除すべきであるとする意見があります。この意見の当否について、準拠法選択における反致とは何かを説明しつつ、あなたの考えを論じなさい。

【8】知的財産法

以下の6問の中から、2問を選択して解答せよ。選択した問題の番号を、解答の最初にはっきりと書くこと。

どの問題を選ぶ場合も、日本法と中国法の両者について、両者を比較しつつ述べることが望ましい。日本法については、適切な条文が挙げられていることを要する。また、いずれの法についても、主要な判例・裁判例には言及することが望ましい。

問1 著作者人格権に関する法制度と、それに関する論点を説明せよ。

問2 特許侵害訴訟において被告がなしうる抗弁を複数挙げ、それらに関する論点を説明せよ。

問3 著作権法上の引用に関する法制度と、それに関する論点を説明せよ。

問4 二次的著作物に関する法制度と、それに関する論点を説明せよ。

問5 美術の著作物だけに適用される著作権法の諸規定と、それらに関する論点を説明せよ。

問6 他人の著作物を無断でインターネット上にアップロードし、誰でも見られるようにする行為に対して、著作財産権保護のためにどのような法制度があるか。また、それに関する論点を説明せよ。

【9】商法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用すること。

問1 株主総会において、議長が株主の提出した議案や動議を取り上げなかった場合、株主はいかなる法的主張を行いうるか。必要に応じて場合分けをした上で、論じなさい。

問2 経営判断原則の適用における「信賴の原則」について説明しなさい。

【10】経済法

次の2問とも解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用すること。

問1 日本の独占禁止法における事業者概念の意義について論じなさい。

問2 縦のカルテル（垂直的制限）に関する日本の独占禁止法における解釈論の展開について説明しなさい。

【11】刑法

次の4問から2問を選択し、解答しなさい。（選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。）

問1 刑法における類推解釈の禁止について論じなさい。

問2 相手方を挑発して相手方からの攻撃を招致した場合に正当防衛が成立するかについて論じなさい。

問3 不法領得の意思の意義について論じなさい。

問4 無銭飲食は刑法上どのような評価を受けるか、必要に応じて場合分けをしながら論じなさい。

【12】刑事学

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。（選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。）

問1 近時多くみられるようになった立法による厳罰化について、具体例を挙げつつ、その要因および是非について論じなさい。

問2 少年に死刑を適用することの是非について論じなさい。

問3 日数罰金制度について論じなさい。